
日比谷地区のさらなる活性化・発展の場として
12月5日 「日比谷パティオ」 オープン
“ヒビアカリ (HIBIY-AKARI) プロジェクト” も同時スタート

三井不動産株式会社は、日比谷地区のさらなる活性化・発展につなげるための情報発信の場として、日比谷公園の向かいに位置する「日比谷パティオ」（東京都千代田区有楽町1丁目）を平成20年12月5日（金）よりオープンします。「日比谷パティオ」は三信ビルディングの跡地開発計画に着手するまでの約2年間の暫定利用です。

「日比谷パティオ」では、アートインスタレーション^(*)やライブパフォーマンス、移動式のフードワゴンなど、“日比谷に、日々 新たなアカリを灯す”という願いを込めた「ヒビアカリ プロジェクト」を実施します。また、「日比谷パティオ」の運営・管理はヒビアカリ プロジェクト事務局が行います。

(*) インスタレーション…空間や場所全体を作品として体験していただく展示方法

平成20年12月5日（金）のオープニングでは、「ヒビアカリ プロジェクト オープニングプロモーション」として、「キャンドルインスタレーション」や氷を使わないスケートリンク「XTRAICE in HIBIYA PATIO（エクストラアイス イン ヒビヤ パティオ）」（仮称）が登場します。また、平成21年1月17日（土）からは「テオ・ヤンセン (Theo Jansen) 展」（仮称）を開催します。



（「日比谷パティオ」イメージ図）



「キャンドルインスタレーション」
（イメージ）



「XTRAICE in HIBIYA PATIO」（仮称）
（イメージ）



「テオ・ヤンセン展」（仮称）
（作品イメージ）

「日比谷パティオ」で開催される 主なイベント

【1】ヒビアカリ プロジェクト オープニングプロモーション

- ①「キャンドルインスタレーション」（入場無料）
 - ・開催期間：平成20年12月5日（金）～12月25日（木） 18:00～21:00（予定）
 - ・内 容：“日比谷に、日々 新たなアカリを灯す”という願いを込めてキャンドル インスタレーションを実施します。当日はキャンドルホルダーの販売（価格未定）も行い、メッセージを添えてオリジナルキャンドルを会場に飾り、ご参加いただくこともできます。
 - ・主 催：ヒビアカリ プロジェクト事務局
- ②「XTRAICE in HIBIYA PATIO（エクストラアイス イン ヒビヤ パティオ）」（仮称）（入場料未定）
 - ・開催期間：平成20年12月5日（金）～平成21年1月4日（日）予定
 - ・内 容：氷を使わないスケートリンク「XTRAICE in HIBIYA PATIO」（仮称）が登場します。
 - ・主 催：テレビ朝日

①②の開催時間、雨天時などオープニングプロモーションの詳細については、内容が決定次第、ホームページ上（<http://www.hibiya-patio.jp>）にて随時発表いたします。

【2】ヒビアカリ スペシャルプロジェクト

- ①「テオ・ヤンセン（Theo Jansen）展」（仮称）（入場料未定）
 - ・開催期間：平成21年1月17日（土）～4月12日（日）予定
 - ・内 容：オランダ人のアーティスト“テオ・ヤンセン”による風力で歩行する構造体「ストランドビースト（砂浜生物）」の作品展をアジアで初公開いたします。
 - ・主 催：「テオ・ヤンセン展」実行委員会（仮称）

今後のスペシャルプロジェクトについては、内容が決定次第、ホームページ上（<http://www.hibiya-patio.jp>）にて随時発表いたします。

- ◎上記に加えて、「日比谷パティオ」では運営期間中、ヒビアカリ プロジェクト事務局が「ヒビアカリ デイリー・プログラム」を継続的に展開します。

デイリー・プログラムは毎日開催されないプログラムもございます。各プログラムの詳細（開催時間、雨天時、参加費等）についてはホームページ上（<http://www.hibiya-patio.jp>）で11月中旬頃、発表します。最新情報はホームページ上でご確認ください。

- ①パティオ コンテナ
アート作品のインスタレーションやライブステージなど、情報発信の場として活用できる6台のコンテナを常設します。
- ②パティオ オーディション
「日比谷パティオ」の“新たなアカリ”を紹介する情報発信企画です。アート、音楽などの分野で優れたアーティストを募り、オーディション形式で発表の場を提供します。
- ③パティオ フードワゴン
ワゴンカーによる飲食店が登場し、時間帯や季節によって特徴あるメニューを提供します。
- ④パティオ ワークショップ
近隣のオフィスワーカーの方々など、平日の出勤前や帰宅前、また休日にも楽しんでいただけるように、ヨガやマラソンなど様々な領域のプログラムを企画しております。

・「日比谷パティオ」に関するメディアからのお問い合わせ先
三井不動産株式会社 広報部 Tel:03-3246-3155

・「ヒビアカリ プロジェクト」に関するメディアからのお問い合わせ先
ヒビアカリ プロジェクト広報事務局（広報窓口／電通 PR 内）Tel:03-5565-8247 荒川／山下

・「ヒビアカリ プロジェクト」に関する一般の方のお問い合わせ先

ヒビアカリ プロジェクト事務局^(*) Tel:03-3581-9820（平日：10：00～17：00）

(*)「日比谷パティオ」の運営・管理は、三井不動産が委託したヒビアカリ プロジェクト事務局が行います。

以上

<添付資料①> 「日比谷パティオ」概要

- 所在地 東京都千代田区有楽町1丁目4番1号（旧三信ビルディング跡地）
- 運営期間 平成20年12月5日（金）から約2年間
（三信ビルディングの跡地開発計画に着手するまでの暫定利用）
- 敷地面積 約2,700㎡
- 専用HP <http://www.hibiya-patio.jp>
- アクセス JR「有楽町」駅徒歩4分
東京メトロ 千代田線・日比谷線 「日比谷」駅 徒歩1分（A5、A11出口）

<位置図>



■「日比谷パティオ」のネーミングについて

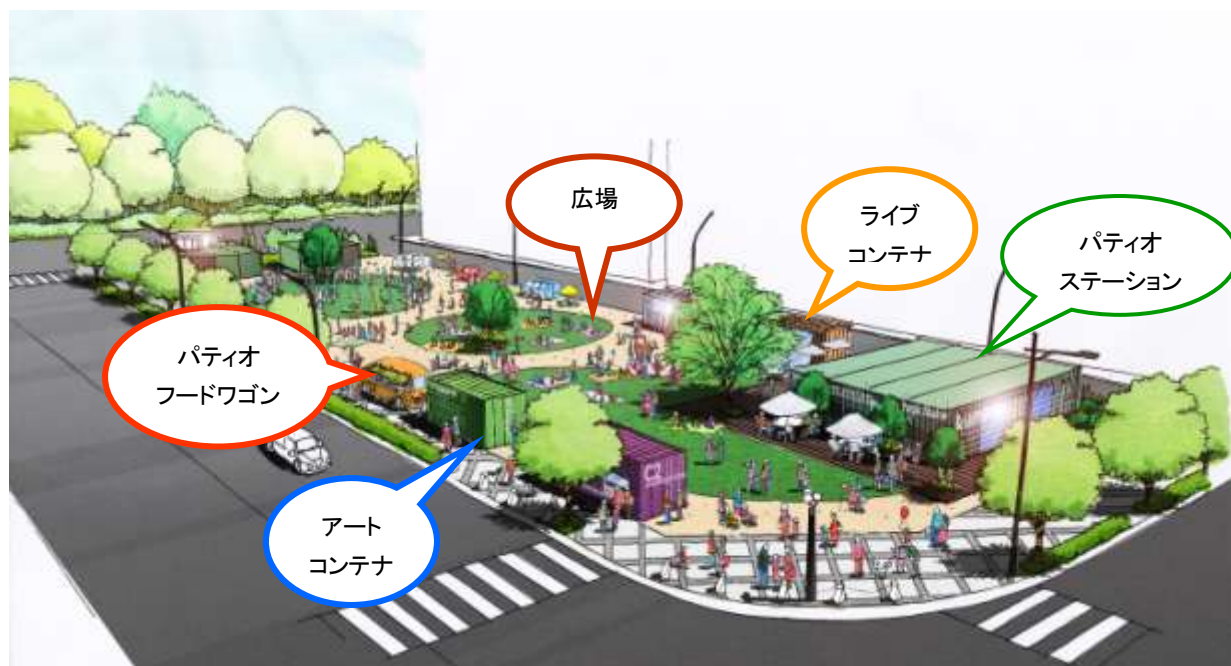
日比谷パティオは、日比谷公園の木々や緑を背景とする都心のオープンスペースとして、人々の出会い、ふれあい、日比谷の街の未来をともに考え、語らう場となることを願い、ヨーロッパの街の中心で人々が集まるパティオ【patio（スペイン語）】を引用し、命名しました。

■シンボルマークについて

「日比谷公園の豊かな緑と太陽の輝きのもと、人々が集い、音楽を楽しんだり、ここから日比谷公園や街にでかけていったり、芝生で思い思いに過ごしたり、食事をここで楽しんだり。そんな豊かな時間を一緒につくっていきましょう、日比谷の未来を一緒に考えていきましょう」というメッセージを込めてシンボルマークを作成しました。



<全体配置図イメージ>



(*)「テオ・ヤンセン展」(仮称)開催時等、イベントの内容によって「日比谷パティオ」内の配置計画は変更になります。

<添付資料②>「ヒビアカリ プロジェクト」概要

【1】ヒビアカリ プロジェクト オープニングプロモーション

①「キャンドルインスタレーション」(入場無料)

■開催期間：平成20年12月5日(金)～12月25日(木) 18:00～21:00(予定)

■内 容：“日比谷に、日々 新たなアカリを灯す”という願いを込めて、キャンドルの灯りでクリスマスシーズンの夜の街を彩るイルミネーションイベントを実施します。やわらかなアカリで人の心を魅了するキャンドルが「日比谷パティオ」に灯ります。当日はキャンドルホルダーの販売(価格未定)も行い、メッセージを添えてオリジナルキャンドルを会場に飾り、ご参加いただくこともできます。

■主 催：ヒビアカリ プロジェクト事務局



キャンドルインスタレーション(イメージ)

②「XTRAICE in HIBIYA PATIO(エクストラアイス イン ヒビヤ パティオ)」(仮称)

■開催期間：平成20年12月5日(金)～平成21年1月4日(日) 予定(入場料未定)

■内 容：氷を使わないスケートリンク(*)「XTRAICE in HIBIYA PATIO」が登場します。都心にいながら、日比谷公園の緑を背景に、屋外スケートをお楽しみいただけます。

(*)このリンクは、ポリオレフィン系樹脂をベースに開発された素材を使用したパネルの上に、専用ワックスを散布した新世代のスケートリンクです。

■主 催：テレビ朝日



「XTRAICE in HIBIYA PATIO」(仮称) (イメージ)

【2】ヒビアカリ スペシャルプロジェクト

①「テオ・ヤンセン (Theo Jansen) 展」(仮称)

■開催期間：平成21年1月17日(土)～4月12日(日) 予定(入場料未定)

■内 容：ヒビアカリ スペシャルプロジェクトとして、アートプロジェクト「テオ・ヤンセン展」(仮称)を開催します。テオ・ヤンセンは科学者から芸術家に転身したオランダ人のアーティストです。「日比谷パティオ」内の特設会場に、オランダ イッペンブルグにあるテオ・ヤンセンのラボより、プラスチックチューブから作り出された風力で歩行する構造体「ストランドビースト」(strandbeest=オランダ語”砂浜生物”の意味)がやってきます。テオ自身が“生物”と称する骨格のような外観と、風力を動力源として自ら歩き出す不思議なストランドビーストの独特な魅力をご覧ください。国内外のブログや動画投稿サイトで話題沸騰中の「ストランドビースト」の展示に加え、彼の製作活動を紹介します。

■主 催：「テオ・ヤンセン展」実行委員会(仮称)



ヒビアカリ スペシャルプロジェクトの詳細については、「テオ・ヤンセン展」(仮称)も含めて、今後ホームページ上にて随時発表いたします。

◎ヒビアカリ デイリー・プログラム

「日比谷パティオ」では、人々が出会い触れ合う場として、次の4つの機能を備えています。固定化されない多目的なスペース提案を行うことで、来街する方々に都市の変化とゆとりをお楽しみいただきます。これらのプログラムは、「日比谷パティオ」運営期間中、内容を変化させながら継続的に展開されます。

* デイリー・プログラムは毎日開催されないプログラムもございます。各プログラムの詳細（開催時間、雨天時、参加費等）についてはホームページ上 (<http://www.hibiya-patio.jp>) で11月中旬頃、発表します。最新情報はホームページ上でご確認ください。

①パティオ コンテナ

アート作品のインスタレーションやライブステージなど、情報発信の場として活用できる6台のコンテナを「日比谷パティオ」内に常設しています。時期によりコンテナ内の展示を替え、文化・交流拠点としての情報発信を行います。

また、コンテナを連結させた「パティオ ステーション」は、「日比谷パティオ」のインフォメーションコーナーとして、また参加型イベントの会場として活用していきます。

●長谷良樹（フォトグラファー）写真展「THE HAPPINESS WITHIN」（12/5～12/25 予定）



●青木美歌（ガラス作家）作品展「タイトル未定」（12/5～12/25 予定）



●ライブステージ

- 12/ 5（金） Pecombo (BOSSA Vocal)
- 12/ 6（土） aco-nico (二胡+アコーディオン)
- 12/17（水） Latinami (JAZZ Vocal)
- 12/23（火） goez'on (邦楽トリオ)



* ライブスケジュール、出演者は変更になる場合がございます。また、上記以外のアーティストも多数出演します。ライブ時間も含めて、最新情報はホームページ

(<http://www.hibiya-patio.jp>) でご確認ください。



②パティオ オーディション

「日比谷パティオ」の“新たなアカリ”を紹介する情報発信企画です。アート、音楽などの分野で優れたアーティストを募り、多くの方に楽しんでいただきます。オーディション形式で“新たなアカリ”を発掘するプログラムも企画しております。

③パティオ フードワゴン

ワゴンカーによる移動式の飲食店です。数台のワゴンカーが「日比谷パティオ」内に登場し、時間帯や曜日、季節によりメニューも変化。移動式の特徴を活かし、毎日でも飽きないようバリエーションのあるメニューをそれぞれ提供いたします。



④パティオ ワークショップ

近隣のオフィスワーカーのみなさまなど、平日の出勤前や帰宅前、また休日にも楽しんでいただけるように、ヨガやマラソンなど様々な領域のプログラムを企画しております。